

思います。健康ならば介護も必要なくなります。医療もありますが、自分の健康を維持するさまざまな考え方も必要になってくるだろうと思います。

市としては引き続き、海老名市医師会をはじめ医療、介護の関係機関などとの連携によって、本市における必要な医療提供体制の維持強化に努めてまいりたいと思います。

その他の質問

・円安と物価高騰が及ぼす本市への影響について



移動支援について



公明党 戸澤 幸雄

問 今後廃止されるぬくもり号、さくら号については利用者の方から不安の声も聞いておりますが、これから全市的な高齢者の外出支援策となるえび〜くるについて、現在実証運行中の利用状況について伺います。

答（保健福祉部長）…えび〜くるは令和6年6月に運行を開始し、令和7年10月までに延べ1万7千人を超える方に利用いただきました。6月の利用登録者向けアンケート調査では97%の方から運行を継続してほしいという声をいただいたこともあり、令和8年5月末まで実証運行期間を延長します。また、ぬくもり号などの運行終了に伴い、その利用者にもえび〜くるを利用していただけるよう、12月から利用対象者に障がい者や妊婦、未就学児連れの保護者を加えたところとです。車両台数についても、えび〜くるの利用状況から当面は現状のままでこれらの新たな利用に対応できると考えますが、今後の利用状況や綾瀬市への乗り入れ、利用者からの意見を踏まえながら慎重に検討してまいります。

問 移行期間などを含めた利用料金について伺います。

答（保健福祉部長）…利用料金を500円にした理由は、

市内で民間交通を利用した場合の負担との比較や民業圧迫にならないこと、また高齢者が払いやすい金額など考慮した結果です。えび〜くるは自宅前から目的地まで移動できることや予約すれば確実に利用できることなど他にはないメリットがあり、今後はえび〜くるの活用を進めていきたいと思います。またぬくもり号などの廃止により、その利用者の不安を少しでも解消できるよう無料利用券の配布も行っています。今後も高齢者に対する経済的な部分などいろいろしっかりと検証して、検討してまいります。

問 目的地から帰るときの利用方法について伺います。

答（保健福祉部長）…まずご利用の際は電話かウェブサイトにアクセスして予約をしていただきます。外出するときに、行きと帰りの時間が想定されている場合は行きと帰りを予約いただく形になります。帰り時間が未定の場合は帰り時間の予定が決まった段階で予約いただく形になりますが、外出先からの急なすぐの時間予約は難しいため、ある程度日程に余裕を持たせてあらかじめ予約をされてから外出いただくことが望ましいと考えます。

その他の質問

・ごみ行政について



実証運行中のえび〜くる

HPV子宮頸がんワクチン接種について 内野市長の政治姿勢について



無会派 三宅 紀昭

問 HPV子宮頸がんワクチンは、2010年12月より開始され2013年4月から定期接種となりましたが、同年6月に厚生労働省は接種数の増加に伴い有害な副反応が見られ積極的な接種推奨を控える動きとなりました。副反応や予防接種健康被害救済制度について、当市は市民にどの程度知らせているか。この制度について市民からの問い合わせや相談・救済制度の発生についてお伺いします。

答（保健福祉部長）…国では、副反応症例などについて十

分に情報提供できない状況があるため、接種希望者の接種機会は確保しつつ、適切な情報提供ができるまでの間は積極的な勧奨を一時的に差し控えていました。令和3年11月に安全性について特段の懸念が認められないことが確認されたため、積極的な勧奨が再開されました。この経緯やQ&Aについて市のホームページで厚生労働省のホームページにリンクをし、確認できるようにしています。海老名市では予防接種健康被害救済制度を申請した方はいません。

問 第3回定例会最終日の市長あいさつで、私や女性議員について批判し、傍聴していた市民からは、あれは市民に向けていうことではない。該当議員に後からでも言えば良いものをあいさつでも何でもなく個人的な愚痴としか聞けない。正当化しようとする人間的なズレが生じている。市民に向けた定例会閉会あいさつの場を利用した自分の言いたいことを長々と言いまくる、あれは市長のやることではないと言う酷評でしたがこれについて市長のご見解をお伺いします。

答（理事兼市長室長）…市長のあいさつは、特定の議員を批判したり、個人的な感情を述べたりする趣旨のものではありません。議会の場で事実と異なる点が示され、市民の皆さまに誤解を与えかねない内容があったため、市政に対する誤解を正し、説明責任を果たす必要があると判断して申し上げたものです。また、公の場での指摘には公の場で正確に説明することが、市民の皆さまの信頼を守る上で適切であると考えています。自分の言いたいことを長く言いすぎるとのご意見については、説明を省いて誤解を残すことこそ不誠実であり、事実に基づき丁寧に説明することは行政の責務であり、市政への信頼を維持する上で欠かせないものと認識しています。今後も建設的な議論やご指摘には誠実に向き合い、責任ある対応を徹底してまいります。

その他の質問

・今後の開発による市内交通渋滞の懸念について

